慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	Kant's Transcendental Idealism in Focus Part IV Jens Timmermann 博士講演会 : "Kantian dilemmas? Moral conflict in Kantian ethics"
Sub Title	
Author	村井, 忠康(Murai, Tadayasu)
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム人文科学分野論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2011
Jtitle	活動報告書 Vol.5, (2011.) ,p.36- 36
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	第2章 : シンポジウム等の活動報告
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002002-20120300-0036

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

9

Kant's Transcendental Idealism in Focus Part IV
Jens Timmermann 博士講演会
"Kantian Dilemmas? Moral Conflict in Kantian Ethics"

開催日　2011年11月10日
企　画　村井忠康（論理情報班）
講演者　Jens Timmermann（University of St Andrews）

2011年11月10日に、セント・アンドルーズ大学 Jens Timmermann 博士の講演会 "Kantian Dilemmas? Moral Conflict in Kantian Ethics" が開かれた。本講演は、2009年から本拠点にて開催してきた連続講義シリーズ "Kant's Transcendental Idealism in Focus" の最後を飾るものであり、また、本シリーズでは初めてカント倫理学をテーマとするものであった。博士は、西洋倫理学の古典として広く読まれている「道徳形而上学原論」の詳細なコメンタリーを始め、その堅実かつ鋭利なテキスト読解において国際的に高い評価を受けているカント研究者である。

今回の講演は、タイトルからも窺えるように、カント倫理学における道徳的対立の問題の扱いを主題とするものであった。一般にカント倫理学は、「嘘をついてはならない」というような道徳上の義務を例外なく課すものであり、そのため道徳的義務のあいだの対立は許容しない立場であると考えられがちである。これに対して博士は、カントが義務そのものと義務の根拠を区別していることに着目すれば、カント倫理学において、義務そのものの対立は概念的に不可能だとしても、義務の根拠のレベルで道徳的対立が可能であることが明確になると論じられた。もちろん、この議論によっても、カントが道徳的対立を詳細に検討しなかったという事実が消えるわけではない。博士は、この事実はカントが道徳的対立に哲学の限界を見ていたことの反映であり、道徳的対立をめぐるカントの叙述は、徳ある人間の正しい判断に対する彼の信頼を示すものであると主張された。

講演は博士らしく、カント解釈上の複数の問題に深く立ち入って検討するものであった。それだけにカントの専門家でなければ問題の所在がつかみにくいのではないかという心配もあったが、当日はカント研究者以外の参加者からも多くの質問の手があがった。講演後は、こうした雰囲気も本連続講演シリーズの成果のひとつと言えるのではないかと考えを改めた次第である。（村井忠康）

Dr. Jens Timmerman (University of St Andrews, UK) gave a lecture as part of the lecture series "Kant's Transcendental Idealism in Focus". The topic was Kant's treatment of moral conflicts. Dr. Timmermann argued that contrary to the common image of Kantian ethics, Kant makes room for them.